

2024年3月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社アイダ設計 上場取引所 東  
 コード番号 2990 URL <https://www.aidagroup.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)會田 貞光  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)下口 崇 (TEL)048(650)0222  
 中間発行情報提出予定日 2023年12月18日 配当支払開始予定日 —  
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期(中間)の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期(中間)	25,939	△11.7	164	—	△72	—	958	—
2023年3月期(中間)	29,367	△11.0	△434	—	△655	—	△296	—

(注) 中間包括利益 2024年3月期(中間) 994百万円(—%) 2023年3月期(中間) △285百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期(中間)	26.08	—
2023年3月期(中間)	△7.98	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期(中間)	68,951	12,057	17.5
2023年3月期	66,955	11,063	16.5

(参考) 自己資本 2024年3月期(中間) 12,057百万円 2023年3月期 11,063百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 中間期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期(中間)	△9,961	4,686	637	3,664
2023年3月期(中間)	△6,584	△473	3,941	12,683

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	0.00	0.00	0.00
2024年3月期	0.00		
2024年3月期(予想)		0.50	0.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	69,360	22.8	974	—	290	—	134	—	3.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

#### ※ 注記事項

##### （1）当中間連結会計期間における重要な子会社の異動

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

##### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

##### （3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期（中間）	37,742,700株	2023年3月期	37,742,700株
② 期末自己株式数	981,240株	2023年3月期	980,479株
③ 期中平均株式数（中間）	36,761,923株	2023年3月期（中間）	37,174,876株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が変更となったことから、経済活動の正常化が進み、国内景気は緩やかに持ち直しの動きがみられました。一方で、円安や物価高による個人消費の落ち込みや海外経済の減速による景気の下振れが懸念材料となり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数には一定の堅調さがあるものの、持家及び分譲一戸建住宅の着工戸数は減少傾向にあります。また、住宅ローンの変動金利については、現時点では低水準を維持しておりますが、今後の動向を注視する必要があります。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、2023年9月30日現在、全国90店舗体制で営業販売活動に注力しております。土地の仕入れから測量・設計・施工・アフターサービスまで、自社一貫体制によるメリットを活かし、高品質な住宅をお求めやすい価格帯で提供できるよう日々尽力しております。売上高については、前期を下回る推移となっておりますが、注文事業において前期より実施してきた価格改定により、利益率については改善基調となっております。また、経営資源の有効活用及び財務体質の強化を図るため、固定資産を譲渡したことで、特別利益として固定資産売却益を1,277百万円計上しております。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は25,939百万円（前年同期比11.7%減）、営業利益は164百万円（前年同期は営業損失434百万円）、経常損失は72百万円（前年同期は経常損失655百万円）、親会社株主に帰属する中間純利益は958百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失296百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### [分譲事業]

分譲事業では、昨年度低水準となっていた完成在庫を適正に増加させながら、販売に注力いたしました。2023年8月にはこれまで以上に廉価な新仕様「IRODORI LIGHT」を発売し、新規住宅取得層へのアプローチを強化しております。しかしながら、競合他社において在庫圧縮の動きが進み、価格競争が激化したことなどから、原価の上昇分を販売価格へ転嫁しきれなかったことで収益に影響が及びました。

この結果、当中間連結会計期間における分譲事業の売上高は、13,523百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益は750百万円（前年同期比34.5%減）となりました。

#### [注文事業]

注文事業では、前期より実施してきた価格改定により販売単価が上昇し、原材料価格の急激な高騰がひと段落したことから、受注後に見積り以上の原価高騰が生じていた前期と比較して、利益率が改善いたしました。また、新商品として、価格を抑えて建築可能な規格住宅「BLAVO minimal」を発売しております。

この結果、当中間連結会計期間における注文事業の売上高は、10,945百万円（前年同期比22.2%減）、セグメント利益は521百万円（前年同期はセグメント損失476百万円）となりました。

#### [その他]

その他においては、プレカット事業、不動産仲介事業などを行ってまいりました。

この結果、当中間連結会計期間におけるその他の売上高は1,469百万円（前年同期比9.1%減）、セグメント利益は76百万円（前年同期比53.4%減）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （流動資産）

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は55,740百万円で、前連結会計年度末に比べ3,354百万円増加しております。現金及び預金の減少6,168百万円、販売用不動産の増加7,319百万円、仕掛販売用不動産の増加3,470百万円が主な変動要因であります。

## （固定資産）

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は13,211百万円で、前連結会計年度末に比べ1,358百万円減少しております。有形固定資産の土地の減少1,257百万円が主な変動要因であります。

## （流動負債）

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は38,027百万円で、前連結会計年度末に比べ4,442百万円増加しております。短期借入金の増加1,393百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加3,642百万円が主な変動要因であります。

## （固定負債）

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は18,867百万円で、前連結会計年度末に比べ3,440百万円減少しております。長期借入金の減少3,215百万円が主な変動要因であります。

## （純資産）

当中間連結会計期間末における純資産の残高は12,057百万円で、前連結会計年度末に比べ994百万円増加しております。利益剰余金の増加958百万円が主な変動要因であります。

## ②当期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は3,664百万円（前連結会計年度末比4,625百万円減少）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は、9,961百万円（前年同期は6,584百万円の減少）となりました。これは主に、棚卸資産の増加額10,828百万円によるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は、4,686百万円（前年同期は473百万円の減少）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が2,823百万円、有形固定資産の売却による収入が2,510百万円あったことによるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は、637百万円（前年同期は3,941百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が5,317百万円あった一方、長期借入金の返済による支出が4,930百万円あったことによるものです。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、変更はありません。

なお、今後、業績等に重大な影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに開示いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当中間連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,020	8,852
受取手形、営業未収入金及び契約資産	1,190	1,048
有価証券	532	—
販売用不動産	6,467	13,787
仕掛販売用不動産	26,827	30,298
未成工事支出金	132	288
原材料及び貯蔵品	253	178
その他	1,963	1,288
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	52,385	55,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,204	3,046
土地	8,956	7,698
その他（純額）	458	398
有形固定資産合計	12,619	11,143
無形固定資産		
その他	43	37
無形固定資産合計	43	37
投資その他の資産		
その他	2,130	2,249
貸倒引当金	△223	△218
投資その他の資産合計	1,906	2,030
固定資産合計	14,570	13,211
資産合計	66,955	68,951

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当中間連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,768	7,002
電子記録債務	—	289
短期借入金	15,278	16,671
1年内返済予定の長期借入金	4,655	8,298
1年内償還予定の社債	1,637	880
資産除去債務	—	4
未払法人税等	45	258
契約負債	3,671	3,034
賞与引当金	134	104
工事損失引当金	76	34
訴訟損失引当金	2	2
その他	1,314	1,447
流動負債合計	33,584	38,027
固定負債		
社債	1,632	1,221
長期借入金	20,105	16,890
繰延税金負債	6	19
完成工事補償引当金	245	245
関係会社清算損失引当金	92	77
資産除去債務	77	72
その他	147	339
固定負債合計	22,308	18,867
負債合計	55,892	56,894
純資産の部		
株主資本		
資本金	216	216
資本剰余金	352	352
利益剰余金	10,763	11,722
自己株式	△339	△339
株主資本合計	10,992	11,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	54
為替換算調整勘定	36	51
その他の包括利益累計額合計	70	105
純資産合計	11,063	12,057
負債純資産合計	66,955	68,951

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	29,367	25,939
売上原価	24,336	20,681
売上総利益	5,031	5,257
販売費及び一般管理費	5,465	5,093
営業利益又は営業損失 (△)	△434	164
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	5	5
紹介料収入	100	86
違約金収入	11	16
その他	35	38
営業外収益合計	155	149
営業外費用		
支払利息	279	366
融資手数料	93	15
その他	3	3
営業外費用合計	376	386
経常損失 (△)	△655	△72
特別利益		
固定資産売却益	0	1,277
解体費用等引当金戻入益	209	—
特別利益合計	209	1,277
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	—	17
特別損失合計	0	17
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失 (△)	△445	1,187
法人税等	△148	228
中間純利益又は中間純損失 (△)	△296	958
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	△296	958



## 中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△296	958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	20
為替換算調整勘定	13	15
その他の包括利益合計	11	35
中間包括利益	△285	994
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△285	994

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失 (△)	△445	1,187
減価償却費	257	232
減損損失	—	17
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	△5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△41	△29
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	54	△41
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△16	△0
解体費用等引当金の増減額 (△は減少)	△232	—
関係会社清算損失引当金の増減額 (△は減少)	△9	△14
受取利息及び受取配当金	△8	△6
支払利息	279	366
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△1,277
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△156	141
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,312	△10,828
仕入債務の増減額 (△は減少)	726	523
契約負債の増減額 (△は減少)	△170	△638
その他	△613	783
小計	△5,696	△9,589
利息及び配当金の受取額	7	6
利息の支払額	△285	△364
法人税等の支払額	△611	△13
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,584	△9,961
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△599	△603
定期預金の払戻による収入	318	2,823
有形固定資産の取得による支出	△118	△43
有形固定資産の売却による収入	0	2,510
その他	△73	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△473	4,686

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,539	1,432
長期借入れによる収入	7,842	5,317
長期借入金の返済による支出	△5,493	△4,930
社債の償還による支出	△442	△1,167
リース債務の返済による支出	△13	△13
自己株式の取得による支出	△339	△0
配当金の支払額	△150	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,941	637
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,102	△4,625
現金及び現金同等物の期首残高	15,785	8,290
現金及び現金同等物の中間期末残高	12,683	3,664

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前中間連結会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
	分譲事業	注文事業	計				
売上高							
一時点で移転される財	13,681	—	13,681	1,526	15,207	—	15,207
一定の期間にわたり 移転される財	—	14,070	14,070	—	14,070	—	14,070
顧客との契約から 生じる収益	13,681	14,070	27,751	1,526	29,277	—	29,277
その他の収益	—	—	—	89	89	—	89
外部顧客への売上高	13,681	14,070	27,751	1,616	29,367	—	29,367
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,681	14,070	27,751	1,616	29,367	—	29,367
セグメント利益 又は損失 (△)	1,145	△476	668	164	833	△1,267	△434

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、住宅販売時に付随して発生するサービスの提供等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
	分譲事業	注文事業	計				
売上高							
一時点で移転される財	13,523	—	13,523	1,392	14,916	—	14,916
一定の期間にわたり 移転される財	—	10,945	10,945	—	10,945	—	10,945
顧客との契約から 生じる収益	13,523	10,945	24,469	1,392	25,862	—	25,862
その他の収益	—	—	—	76	76	—	76
外部顧客への売上高	13,523	10,945	24,469	1,469	25,939	—	25,939
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,523	10,945	24,469	1,469	25,939	—	25,939
セグメント利益	750	521	1,272	76	1,348	△1,184	164

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、住宅販売時に付随して発生するサービスの提供等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。